

たき  
滝まさ ひろ  
勝 弘にほんきょうさんとうつしぎだん  
日本共産党津市議団

### 市の技術職員の技術継承を意識的に進めよ

**問** 厚生労働省の新水道ビジョンでは「職員の減少傾向の中で大災害時の人員確保や、頻繁な人事異動による専門性の低下も懸念」と指摘されている。県都の自治体として、災害応援もできる余力を持ち、また、必要に応じた増員もすべきである。再任用職員についても、キャリアに基づく希望を考慮して力を発揮できる配置をすることが、技術継承につながるのではないかと。

### 研修や効果的な人事配置で技術の継承を図る

**答** さまざまな研修への積極的な参加により、また、新規採用職員に対しては、プリセプター制度を導入し、経験年数が長い職員とペアを組ませている。また、未経験職員に対しては、前任者や先輩職員からの日常業務を通じた職員教育（OJT）を行うことにより、仕事に必要な知識、技術、技能などを計画的、継続的に習得させ技術の継承に努めている。

再任用職員についても、豊富な行政経験や知識、技術などを後輩職員に継承できるような人事配置を行っており、所属職員の年齢構成や経験年数などを考慮し、職員の人材育成に効果がある人事配置に努めていく。

#### ●その他の質疑・質問●

- マイナンバーカードの取得を実質的に強制することのないように
- 参政権を行使しやすい投票機会、投票環境の整備を
  - 投票率を上げるためにも、家から近くに投票所の設置を
  - 若者の投票率アップのためにも、高校に投票所を設けるなどの取り組みはできないか など



▲技術や経験を持った職員の養成につながる人事配置を

にし やま  
西 山み え  
み えけんとう  
県都クラブ

### 子育て世代包括支援センターの周知の方針は

**問** 市内の保健センター10カ所と子育て支援センター4カ所は、子育て世代包括支援センターとして位置付けられているにもかかわらず、ワンストップ窓口とはなっておらず、市民への周知もなされていない。

健康福祉部内の保健センターと子育て支援センターがさらに連携し、切れ目のない支援を目指していく必要がある中で、今後の方針は。

### ワンストップ窓口として名称も含め検討する

**答** 子育て世代包括支援センター事業は、保健センターと子育て支援センターが、役割分担をし、連携体制をとって、切れ目のない支援の提供に取り組んでいる。保健センターと子育て支援センター間の情報共有については、個々のケースごとに必要かどうかの判断をしているのが現状である。ホームページなどにも子育て世代包括支援センター自体のご案内がないため、利用者目線で見た場合、十分ではない。

ここに行けば何らかの支援を受けられるワンストップ窓口としての位置付けが必要であることから、名称も含め、今後、検討する。

#### ●その他の質疑・質問●

- 久居アルスプラザのオープンに向けての体制と今後について
  - オープニングイヤーの計画と指定管理者要求水準書で重視した舞台管理に係る資質向上は
  - 新ホールに他市の状況も踏まえた分かりやすい案内表示を
  - 今後の運用は
- 津リージョンプラザお城ホールの改修内容と、改修後の再オープンに向けての対策は など



▲久居アルスプラザ指定管理者要求水準書を重視した運営を